アレハンドロ・ゴンサレス・イニャリトゥ

Alejandro Gonzalez Inarritu

アレハンドロ・Ｇ・イニャリトゥ ☒ Alejandro G. Inarritu

生年月日 1963/08/15

出身地 メキシコ／メキシコシティ

【バイオグラフィ】

■1984年にメキシコのラジオ局でＤＪを始めたことがショービジネス界進出のきっかけに。その後もテレビ番組のプロデューサーや映画作品の作曲など多才ぶりを発揮し、９６年の短編「El Timbre（原題）」で映画監督デビュー。長編第一作「アモーレス・ペロス」でカンヌ国際映画祭批評家週間グランプリ、東京国際映画祭東京グランプリ＆最優秀監督賞に輝くなど、一躍注目の存在に。2002年のオムニバス作品「11'09''01／セプテンバー11」ではうち１作を担当、ショーン・ペンやナオミ・ワッツを起用した「２１グラム」も各方面で賞賛された。群像ドラマ「バベル」でカンヌ国際映画祭監督賞を受賞、「BIUTIFUL　ビューティフル」もパルム・ドール候補、と作品を発表するたびに高評価を獲得。そして、斬新な撮影技法で落ちぶれた俳優の再起を描いた2014年の「バードマン　あるいは（無知がもたらす予期せぬ奇跡）」でアカデミー賞作品賞のほか自身も監督賞を初受賞。さらに翌年の「レヴェナント：蘇えりし者」でも監督賞を獲得し、２年連続受賞の快挙を成し遂げた。寡作ながら常に安定したポテンシャルを発揮するフィルムメーカーとして今後もますます活躍が期待される。

【フィルモグラフィ】

DIGGER／ディガー（2026）	監督,製作,原案,脚本
バルド、偽りの記録と一握りの真実（2022）	監督,製作,脚本,編集,音楽
レヴェナント：蘇えりし者（2015）	監督,製作,脚本
バードマン　あるいは（無知がもたらす予期せぬ奇跡）（2014）	監督,製作,脚本
BIUTIFUL　ビューティフル（2010）	監督,製作,原案,脚本
愛する人（2009）	製作総指揮
ルドandクルシ（2008）	製作
それぞれのシネマ　～カンヌ国際映画祭６０回記念製作映画～（2007）	監督
バベル（2006）	監督,製作
美しい人（2005）	製作総指揮
２１グラム（2003）	監督,製作
１１'０９''０１／セプテンバー１１（イレブン）（2002）	監督,脚本
アモーレス・ペロス（2000）	監督,製作

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.